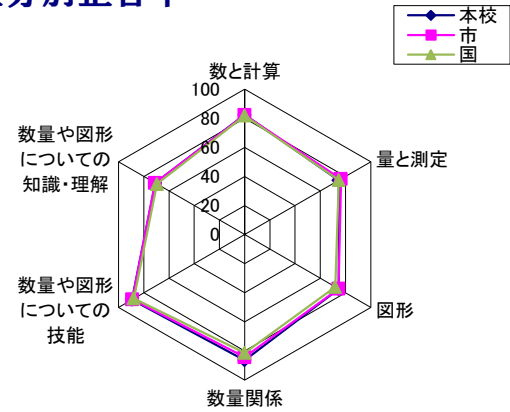


宇都宮市立石井小学校第6学年【算数】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

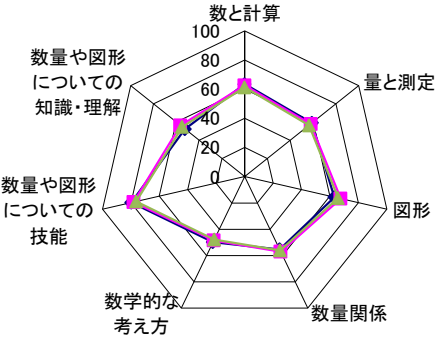
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	82.3	82.2	81.8
	量と測定	74.6	76.4	74.8
	図形	74.6	74.5	71.8
	数量関係	86.3	84.2	81.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	89.4	89.1	87.9
	数量や図形についての知識・理解	70.9	71.1	69.5



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	63.5	62.6	61.3
	量と測定	59.1	58.0	56.5
	図形	63.2	67.5	65.7
	数量関係	55.4	57.1	56.2
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	49.9	48.6	47.8
	数量や図形についての技能	79.7	78.1	76.2
	数量や図形についての知識・理解	52.4	56.3	54.8



★算数に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○「算数の勉強は大切だと思いますか」「算数の授業で学習したことが、将来社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問に対して、肯定的な回答をしている児童が多く、算数の学習への意欲につながっていると考えられる。
○「算数の授業に内容はよくわかりますか」「新しい問題にであったとき、それを解いてみたいと思いますか」「解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」の質問に対する肯定的な回答の割合が高く、既習事項を生かし、多面的な見方で解決を図る意欲的な態度が見られる。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○整数・小数・分数の四則計算について、正しく理解し答えを導き出すことができる。 ○示された場面から計算結果の見通しをもち、(2位数)×(1位数)の筆算をすることができる。 ●40人分から10人分の目安を考えるなど、数量の関係を相対的にとらえ、それを図に表すことに課題がある。	・課題を解決するときに、図や表、言葉など様々な方法で表現させ、それらと式を関連付けながら答えを導く学習活動の展開を取り入れる。 ・四則計算については、家庭学習と連携して繰り返し取り組ませ、確実な定着を図る。
量と測定	○体積の単位(1cm ³)の意味と測定について理解し、正しく直方体の体積を求めることができる。 ○月別の水の使用量の表から何倍かを求める問題において、基準量と比較量を正しくとらえ、求めることができる。 ●単位量当たりの大きさの理解に課題がある。	・具体的な場面を通して、何を単位量とするのかを考えさせ、図や数直線を活用しながら正確に立式できるように指導する。
図形	○円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができる。 ○立体図形とその見取図の辺や面のつながりや位置関係について理解している。 ●図形のかき方からその特徴を考えるなど、作図に用いられる図形の約束や性質の理解に課題がある。	・それぞれの図形の定義と性質を理解させ、その性質を生かした作図を行わせる学習を通して実感を伴った理解を図る。
数量関係	○四則の混合した式の意味について理解している。 ○二つの数量の関係を口、△などの記号を用いて式に表すことができる。 ●示された情報を整理し、筋道立てて考えることに課題がある。	・日常の事象を算数の内容と関連付け、表やグラフに整理したり、図に表したりしながら、筋道立てて考える学習機会を多く設ける。